

pick up!

生活の中でごみの減量に取り組みましょう



地域に合わせた分別を徹底し、可燃ごみを減らす



洗剤・シャンプー等は、詰め替え用を使用する



スーパーなどにあるリサイクルステーションを活用する



食料品はバラ売りや、なるべくトレイのないものを選ぶ



マイバッグを持参し、過剰な包装は断る



食材を上手に使い切る



割り箸ではなく、マイ箸を使用する



水切りネットなどを活用し、一絞りしてから捨てる



紙モップ・粘着シートの使用を減らし、掃除機や雑巾を使う

10月は「3R推進月間」「食品ロス削減月間」です

3つのRでできることから始めましょう

Reduce
* 食品ロスを減らす
* マイバッグの使用

Reuse
* 詰め替え商品を選ぶ
* 壊れても修理して使用する

Recycle
* 資源とごみを分別

食品ロスを減らしましょう

買い過ぎない
* 買い物リストの活用や期限表示を確認する

作り過ぎない
* 食べられる量を把握する
* 食材を使い回す

食べ残さない
* 少しずつ取り分ける
* 使い回しのレシピを考える

ごみの減量化にご協力ください



私たちが持続可能な社会を実現していく上で「ごみ問題」は避けて通れません。
市では、ごみの減量化に向けた取り組みを進めていますが、私たち一人一人の意識と行動が何よりも大切です。普段の生活においてもごみを増やさないことを意識し、ごみの減量化にご協力をお願いします。
【問】☎環境課Tel.76-1511



Q.なぜごみを減らす必要があるの？

A.ごみ処理費の削減や、処理施設(焼却炉・処分場)の維持と延命化、また、人手不足への対応など持続可能なごみ処理体制を維持するため、一人一人が取り組む必要があります

ごみを減らさなければならない3つの理由

①地球環境を守るため	②処分場の維持のため	③将来世代の負担軽減のため
ごみ減少により、運搬・処理に伴い発生する二酸化炭素の排出量を抑制できる	新たな処分場(埋立地)の建設には土地の開発等が伴うため、今ある埋立地を長く使う必要がある	ごみ処理施設の経費節減につながるため、将来世代の負担を軽減できる

ごみ処理にかかる費用

市の令和6年度ごみ排出量は42,926トンで、1人1日当たりの総排出量は840グラムです。ごみ処理にかかる費用は令和6年度実績で年間約23.3億円となり、住民1人当たり年間約16,600円。ごみを減らすことで処理経費の削減につながります。

令和6年度処理費
23.3億円
1人当たり
16,600円

